

どうするアビスパ

J参入
迷走の12年

九州初のJリーグクラブ「アビスパ福岡」が迷走している。九州サッカー界をけん引するはずが、今季もJリーグ2部(J2)で成績不振。監督人事はもめ、2年ぶりの赤字決算で財政も危機的だ。どうするアビスパ！ 明日への課題と再建案を探った。

波が一気に引くように観
ピッチ上で来季の抱負を淡
々と口にする都筑社長に、
各が席を立ち家路に急ぐ。
八日、レベルファイブスタ
ジアム（福岡市博多区）で
行われたアビスパの今季最
かつた。

■約束を守れず
総選 試合後 者第興社長
のあいさつが始まるとスタ
ンドに残ったサポーターから
「辞めろ！ 辞めろ！」
の大合唱。「クラブに明る
い未来はあるのか」などラ
ロントを批判する横断幕が
掲げられた。

一九九四年七月。福博の
街は、サッカー一色に染ま
った。市民50万人の署名を
集め、福岡青年会議所、福
岡市、地元企業が協力。静

岡県藤枝市を拠点とする

今季はクラブワースタ
イの8位。J2に転落して
2年連続で下位に沈んだ。
岡市長は、チームを手放す
「藤枝ブルックス」を誘致
した。当時の故桑原敬一福

失望

1

悲しみから涙を流す摩耗
ツカーレス者を前に、福
市民の思いを伝えた。

その言葉とは裏腹に、
一ヶに参入して12年たつ
今、スポンサーが続々と
退、チームの力も低下…。
走を続けるクラブに市民
失望し、怒りの矛先はク
ラブのトップに向けられた

「どんな世界でもトップの人に責任があり、決定権もある。アビスパはまるで羅針盤なぎ船。このままでは沈没する」。悔しさから大分はガビスコカップを制し、地方クラブのシンボル的に存在に成長した。

我爱读书，读书使我快乐。——王源

「社長が明確なビジョンを示せないから、今のアビスパがある」。語気を強めたのは福岡県春日市の会社員の男性(五二)。二〇〇三年に大分に転勤。当時、J2の山本圭吾代表(三五)は「アーバンリーグの危機にあって大分ト降格の危機にあつた大分トビスパの社長をやりたいとリニータとサポーターとの思つて来ている人ばかりじ

最終戦を終え、あいさつするアビスパ福岡・都筑興社長(手前)に横断幕やブーイングで抗議の意思を示すサポーター=6日、福岡市博多区のレベルファイブスタジアム

■入場料値上げ

見えない方向性から、ク
タ。試合も子どもたちの次
の会員は1000人を超
バ主催のサッカースクール
中学生を対象にしたアビラ
を招いている。幼稚園から
に情熱ある人を出さない
が」と唇をかんだ。

ラブ運営にも不可解な動き
ない。なぜ、株主はクラ

が多くの見られる。だが、クラブは来季のホームゲームの前売り入場料を小中高生を対象に引き上げた。「子どもたちを見捨てるつもりなんのか」。福岡市東区の主婦

羅針盤なき航海の先は



連載に対するご意見・
感想をお寄せください。
ファクスは092(711)523
1、電子メールはundou
@nishinippon.co.jp。
ともに西日本新聞運動部
あて。また本紙ホームページ
(西日本新聞読者ブ
ラザ)でもお受けします。